

～卒業生アンケートのお願い～
～電気・電子関係の職種業務について～

産業技術短期大学校では、技術の進展や社会情勢の変化に応じて、神奈川の産業の将来を支える実践的なものづくり技術者の育成や、企業に在職されている方のスキルアップに資する短期のセミナー等に取り組んでおりますが、改めて本校を卒業した皆様からご意見をきめ細かく伺い、今後の本校の運営に反映させて行きたいと考えておりますので、ご多忙のところ恐縮ですが次のアンケートにご協力をお願い申し上げます。

神奈川県立産業技術短期大学校長 荻田 浩司

I ご回答いただいている方の状況について

Q1: あなたの卒業した科名、卒業年を次の欄から選択し、お答えください。(口の中に「レ」印を記入してください。)

- 生産技術科 制御技術科 電子技術科 産業デザイン科 情報技術科
 H28年3月卒業 H27年3月卒業 H26年3月卒業 H25年3月卒業 H24年3月卒業

Q2: あなたが、現在所属されている企業名、所属部署、業務内容(主にどのような仕事を行っているか)について、次の欄にご記入をお願いします。

企業名: _____ 所属部署: _____

業務内容: _____

(次ページに続きます)

II 在校期間中の社会人基礎力の習得について

※Q3とQ4は、設問の次にある表にまとめてお答えください。

Q3: あなたが、産業技術短期大学校に在学している期間の中で、次の項目で示した社会人基礎力に関しどの程度身につけることができたとお考えですか？(該当する水準の数字に「○」を記してください。)

- ※ 表の水準数値 3=企業(社会)ですぐに通用する高い能力を身につけることができたと思う
 2=他の新入社員に比べれば高い能力を身につけることができたと思う
 1=基本的な能力は身につけることができたと思う
 0=身につかなかったと思う
- } ※ 卒業時点

Q4: 就職後に、あなたが特に重要だと感じている社会人基礎力についてお答えください。(表の回答欄に「○」を記してください。複数回答可)

番号	項目	Q3の回答欄				Q4の回答欄
		在学中に身につけることができたレベル 3=社会ですぐ通用する高いレベル 2=他の社員に比べて高いレベル 1=基本は身についた 0=身につかなかった				就職後重要性を感じた 「○」を記入
1	自己の責任を認識しながら仕事を進める志向	3	2	1	0	
2	目標を持ち、率先して取り組む行動力(意欲・積極性)	3	2	1	0	
3	粘り強く継続的に物事に取り組む力	3	2	1	0	
4	社会の動向等に幅広く関心を持つ志向	3	2	1	0	
5	自ら学習や調査を進める能力	3	2	1	0	
6	創造的な思考能力	3	2	1	0	
7	論理的思考力や分析能力	3	2	1	0	
8	課題や問題点を見出す力	3	2	1	0	
9	計画性をもって効率的に物事を進める能力	3	2	1	0	

(次ページに続きます)

番号	項目	Q3の回答欄				Q4の回答欄
		在学中に身につけることができたレベル 3＝社会ですぐ通用する高いレベル 2＝他の社員に比べて高いレベル 1＝基本は身についた 0＝身につかなかった				就職後重要性を感じた 「○」を記入
10	物事を完結させる力と成果を意識する志向	3	2	1	0	
11	人間関係を構築する力（他人に働きかける力）	3	2	1	0	
12	チームワークや協調性の志向	3	2	1	0	
13	規律を重んじる志向	3	2	1	0	
14	集団の中でリーダーシップを発揮できる能力	3	2	1	0	
15	自らの意見をわかりやすく伝える能力	3	2	1	0	
16	他者の意見等を傾聴する志向	3	2	1	0	
17	グローバルな志向（基礎的な英会話能力）	3	2	1	0	
18	基礎的な英文書の読解能力	3	2	1	0	
19	知的財産に関する意識と基礎的な知識	3	2	1	0	
20	製品の流通やマーケティングに関する基礎知識	3	2	1	0	
21	労働関係法令等、労働者としての基礎知識	3	2	1	0	
22	自身の考えを文章で端的に表現できる能力	3	2	1	0	
23	プレゼンテーション能力	3	2	1	0	
24	環境配慮の意識	3	2	1	0	
25	健康に対する意識と基礎的な体力	3	2	1	0	

(次ページに続きます)

Q5: 前Q4の項目のほか、あなたが就職後に重要だと感じている社会人基礎力があれば、その内容を次の欄にご記載ください。

Ⅲ 在学期間中の専門知識や技術・技能の習得について

※Q6とQ7は、設問の次にある表にまとめてお答えください。

Q6: あなたが、産業技術短期大学校に在学している期間の中で、次の項目で示した専門的な知識や技術・技能に関し、どの程度身につけることができたとお考えですか？（該当する水準の数字に「○」を記してください。）

※ 表の水準数値について

【知識】の項目

- 3＝十分理解でき、業務の中で応用できる
- 2＝概ね理解しており、業務に活用できる
- 1＝基本的な事項を知っている
- 0＝身につけることができなかった

【技術・技能(作業能力)】の項目

- 3＝複雑な作業や応用的な作業にも対応できる
- 2＝やや複雑な作業にも対応できる
- 1＝基本作業が身につけている
- 0＝身につけることができなかった

※卒業時点の水準でお答えください

(次ページに続きます)

Q7: 入社後に特に重要だと感じている能力等を、次の欄にお答えください。(表中の「重要」の欄に○を記してください。)

【専門知識】

番号	項目	Q6の回答欄				Q7の回答欄
		在学中に身につけることができたレベル 3=十分理解、業務で応用 2=概ね理解、業務で活用 1=基本事項を知っている 0=身につかなかった				就職後重要性を感じた 「○」を記入
1	半導体に関する知識	3	2	1	0	
2	シーケンス制御に関する知識	3	2	1	0	
3	電子電気の専門用語に関する知識	3	2	1	0	
4	コンピュータ用語に関する知識	3	2	1	0	
5	電気に関する作業安全に関する知識	3	2	1	0	
6	測定器の原理についての知識	3	2	1	0	
7	メカトロニクスに関する知識	3	2	1	0	
8	交流回路に関する知識	3	2	1	0	
9	アナログ回路に関する知識	3	2	1	0	
10	電子回路設計に関する知識	3	2	1	0	
11	報告書を作成する知識	3	2	1	0	

(次ページに続きます)

【技術・技能】

番号	項目	Q6の回答欄				Q7の回答欄
		在学中に身につけることができたレベル 3=十分理解、業務で応用 2=概ね理解、業務で活用 1=基本事項を知っている 0=身につかなかった				就職後重要性を感じた 「○」を記入
1	マイコンのプログラミング	3	2	1	0	
2	プログラマブルコントローラのプログラミング	3	2	1	0	
3	電子回路CADを取扱う技能	3	2	1	0	
4	回路シミュレーションに関する技能	3	2	1	0	
5	はんだ付け作業	3	2	1	0	
6	アナログ (マルチメータ、オシロスコープ) 計測技術	3	2	1	0	
7	デジタル (ロジックアナライザ、エミュレータ等) 計測技術	3	2	1	0	
8	電子回路組立技能	3	2	1	0	
9	筐体製作技能	3	2	1	0	
10	センサー取付 (据付) に関する技能	3	2	1	0	
11	電気工事に関する技能	3	2	1	0	
12	問題解析における技能	3	2	1	0	

Q8: 前Q6の項目のほか、入社時に「身につけておいたほうが良かった」と思う専門知識・技術・技能がありましたら、その内容を次の欄にご記載ください。

(次ページに続きます)

Q9: 入社前までに、本校での学習を含め、「取得していた資格等」についてお答えいただくとともに、「取得しておいた方がよかった資格等」がありましたら、次の欄にそれぞれ記載をお願いします。

【入社前に取得していた資格等】

【取得しておいたほうがよかった資格等】

IV 産業技術短期大学校の学習・生活環境について

Q10: 産業技術短期大学校の教室・実習場等の学習施設(建物)に関する印象で、当てはまるものを次の項目から1つ選択してください。(口の中に「レ」印を記入してください。) なお、「支障があった」とお答えいただいた方は、具体的な支障の内容をご記入ください。

- 大変良い施設だと思う 特に支障なく学習できた 支障があった

支障の内容:

(次ページに続きます)

Q11: 同様に、実習で利用していた機器等に関する印象で、当てはまるものを次の項目から1つ選択してください。(口の中に「レ」印を記入してください。) なお、「その他の支障」とお答えいただいた方は、具体的な支障の内容をご記入ください。

- 適切な性能・数が配備されている 数が不足している 機器が古いなど性能が不十分
 その他の支障 何ともいえない

支障の内容:

Q12: 同様に、産業技術短期大学校で学生生活を送る中で、福利厚生(校内で生活していくうえでの様々な環境や制度)の面に関する印象で、当てはまるものを次の項目から1つ選択してください。(口の中に「レ」印を記入してください。) なお、「不自由な面があった」とお答えいただいた方は、具体的な内容をご記入ください。

- 満足できていた 特段の不自由は感じなかった 不自由な面があった

不自由であった事項:

(次ページに続きます)

V その他、全般について

Q13: 卒業生という視点で産業技術短期大学校を見た場合、当てはまるものすべてを次の項目から選択してください。(「該当」の欄に「○」印を記入してください。) 複数回答可

番号	項目	該当
1	興味や可能性が広げられ将来の選択肢が増える学校だと思う	
2	教育方針・カリキュラムが魅力的である	
3	一般教養など社会で役立つ力が身に付く	
4	教育内容のレベルが高く、専門分野を深く学べる	
5	資格取得に有利である	
6	学生の面倒見が良い	
7	教授や講師が魅力的である	
8	学習設備や環境が整っている	
9	就職の実績が高い	
10	県立であり、安心感がある	
11	学費が安価である	
12	交通の便が良い	
13	校風や雰囲気が良く活気がある	

Q14: 前Q12の項目のほか、本校の魅力(強み)として考えられる事項がありましたら、次の欄に記載をお願いします。

(次ページに続きます)

Q15: 逆に卒業生という視点で産業技術短期大学校を見た場合、改善が必要な事項(弱み)がありましたら、次の欄に記載をお願いします。

Q16: 本校は、高校生や県民の皆様方の認知度は十分でなく、今後も周知に努めていく必要があると考えております。こうした周知の方法や内容に関し、卒業生という視点で忌憚のないご意見やアイデア等がありましたら次の欄に記載をお願いします。

Q17: その他、本校に対するご意見、ご要望等がございましたらご自由にご記入をお願いします。

(次ページに続きます)

ご協力ありがとうございました。皆様のますますのご活躍をお祈りするとともに、文化祭(今年度は10月29日(土))等の機会には、お時間の都合がよろしければぜひご来校くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。